

釧路市立青陵中学校学校だより 令和7年11月28日(金)

青陵の心 ◇教職員・生徒・保護者 学校評価アンケートの集計と評価・分析◇						・評価：4点満点	3.3以上	2.8以下	評価・分析
	教員アンケート		生徒アンケート		保護者アンケート		平均		
	評価項目	平均	評価項目	平均	評価項目	平均			
満足	生徒の主体性や自己肯定感を高め、生徒が学校に通うことに満足できる教育活動を実践している。	3.0	学校生活が楽しく、満足している。	3.1	青陵中の教育活動に満足している。	2.9			・概ね満足感が感じられる。 ・学校生活での充実感を得られていない生徒の状況把握と、支援に努める。
キャリア	自立した大人を意識させた、教育活動を行っている。	3.0	自分の将来の姿(自立した大人)について考えている。(考えるようになった)	3.0	学校は、お子さんに適切なキャリア教育(自立した大人を目指す)に取り組んでいる。	2.9			・学校経営方針の根幹である「未来を幸福に生きることのできる自立した大人」に対する設問である。教職員については、キャリア教育についての指導を全体で理解し、全体が方向性を整えた高い数値を目指したい。日常的な教育活動を通じて、生徒たちがより将来の夢や希望から自己実現に向けて意図的・継続的な指導が必要。 ・活動での指導や生徒の様子等の発信、周知を再確認。
	生徒が見通しを持って、自分の進路実現ができるようキャリア教育を計画的に行っている。	3.0			お子さんと、将来について話し合うことがある。	3.3			
	生徒が見通しを持って、自分の進路実現ができるよう進路指導を計画的に行っている。	3.2							
学力向上	生徒と生徒、生徒と教師の対話を重視し、主体性や個性を尊重した授業を行っている。	3.1	主体的に学習に取り組んでいる。(生活全般)	3.0			2.8		・「個人思考」「集団思考」を意識した授業場面の想定、構築を共通に意識されている結果にみえる。生徒も授業の中から「わかった」「できた」と感じられている。今後一層の学力向上につながる日常の学習への理解度や、各種調査・テストの分析から授業の改善、構築を図る必要。
	生徒の学習状況を把握し、多様な生徒への学習方法の工夫をしている。(タブレット以外)	2.8	授業で「わかった」「できた」を実感できている。	3.1	授業で、お子さんに基礎的な知識や技能を習得させている。				
	評価の観点を意識し、指導と評価の一体化を図った指導を行っている	3.1	授業ではじっくり考えたり、考えを交流する場面がある。	3.3					
	各種テストや調査の結果の分析を行い、授業改善に活かしている。	3.0							
	授業で「個人思考」や「集団思考」の場を設定している。	3.4							
	生徒の学習状況を把握し、多様な生徒への学習方法の工夫をしている。(タブレットに関して)	3.1	授業でタブレットを使用することにより、学習がしやすくなっている。	3.3					
	計画的に学習ができるように、授業のまとめ等を工夫するなど自学の方法を身に付けさせる工夫をしている。	2.8	計画的に家庭学習に取り組んでいる。	2.6	お子さんは、自学の方法を身につけ計画的に家庭学習に取り組めるようになってきた。	2.6			
読書の意義や楽しさを伝える工夫をしている。	3.0	家庭でも読書に取り組んでいる。	2.3	家庭では、お子さんに読書に取り組むように働きかけている。	2.1	・読書については、その意義や、本を読む楽しさを味わわせる体験等、読書・図書活動の推進が必要か。 ・家庭学習をはじめ学習習慣の定着が必要。生徒の主体的な学習に向けては、家庭との協力・連携が欠かせない。			
生徒指導	生徒が、主体的に活動ができる場を工夫している。	3.2	主体的に生活を送ることができている。(生活全般)	3.1			2.8		・教員が生徒の主体性の育成に向けた指導の在り方考え、指導への高い意識と実際の表れとを感じる。 ・生徒によるISSY運動、ISSY+プロジェクト、ISSYアドバンスプロジェクトの取り組みをさらに学校全体に浸透させることで一人一人の「自己存在感」「他者理解」等の高まりから集団での心理的安全性、支持的風土の醸成を育みたい。 ・子供の成長に向けては、家庭及び学校が共通理解、協力のもと、子供たちとの良好な関わりから自立した大人へ向け成長が図られると感じる。「失敗を重ね取組、前進していくこと」に都度称賛したい。 ・日常生活や学習等での困り感を持っている生徒について、その対応を講じていることも事実である。引き続き組織的・継続的な対応に努めていきたい。
	学級活動や学校行事等で役割を自覚させ参加させることができている。	3.3	学校生活の中で自らの役割をもち責任を持った行動ができている。	3.1	お子さんは、家庭での役割を持ち責任ある行動をとっている。	2.8			
	自ら考え、選択し決定させる場を設定している。	2.9	自らの考えを活かした活動ができている。	3.1					
			生活の決まりに対して満足している。	3.1					
	生徒の共感的で好ましい人間関係を育てる支援や指導を行っている。	3.1	認め合い、思いやりを持った言動や行動ができている。	3.2					
	日常から生徒に対する賞賛や激励を意識して行っている。	3.4	良い人間関係を築くことができている。	3.2	お子さんと、コミュニケーションを積極的に行っている。	3.5			
	いじめを決して許さない集団づくりに取り組んでいる。	3.6	「いじめは絶対に許されない」と思う。	3.6	お子さんは、「いじめは絶対に許されない」と思っている。	3.7			
	特別な配慮が必要な生徒について情報を共有し、適切な指導が行われている。	3.3							
	自己存在感を高めることを意識した生徒理解に取り組み、安心感・安全感を与える生徒指導を行っている。	3.3	協力し活動することができている。	3.3					
			自分を大切な存在だと感じているか。	3.0					
生徒指導のルールをよく理解して組織的に指導を行えている。	3.1	挨拶をしっかりとしている。	3.4	お子さんは、日常的に挨拶がしっかりとできている。	3.3				
生徒・保護者とコミュニケーションを図り、信頼関係が築けている。	3.1	先生に学校生活や将来のことなどの不安や悩みを相談しやすい。	2.9	学校は、生徒や保護者の悩みや不安を相談しやすい雰囲気があり、適切に対応している。	2.7				
教育相談は生徒や保護者に効果的に利用されている。	3.2								
生活	基本的な生活習慣を確立させるため、計画的、継続的な指導を行っている。	3.3	規則正しい生活を送っている。	3.0	お子さんは規則正しい生活を送っている。	2.8	2.8		・健やかな体(心身)の育成に向けて、教員による指導・啓発、生徒の意識も高い。 ・生徒が学校と家庭生活において、主体的な基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん等)の確立に向け、学校でできること、家庭での習慣化の双方の役割を果たすことが大切。
	体力向上のために授業や部活動以外でも、日常的に体を動かすように働きかけている。	3.1	授業や部活動等以外でも運動するように心がけている。	2.9	家庭では、お子さんに、日常的に運動するように働きかけている。	3.0			
			朝食を食べるようにしている。	3.4					
安全	安全に対する適切な判断力・行動力を育成する指導をしている。	3.4	学校で地震や火災等が発生した時の対応や避難方法を理解している。	3.4	家庭で、お子さんと災害時について話すことがある。	3.0		・日頃からの危機管理・回避に向けた指導の表れとを感じる。学校全体での意識化の高揚を目指したい。	
情報	各種お便りやホームページ等で情報提供を適切に行なっている。	3.3	学校・学年・学級だよりを読んで必要な情報を得ている。	3.0	各種お便りやホームページで学校の情報がよく伝わっている。	3.0		・情報発信の工夫や、共有する情報を的確に公表していく。	

○保護者の声○(自由記述より、一部ですが記載させていただきました)	○学校より○
多感なこの時期に楽しんで学校に行けていることがまず素晴らしいです。	本校の目指す生徒の姿である「未来を幸福に生きることのできる自立した大人」、その姿を具現化するため「自ら実践する生徒」・徳「心豊かな生徒」・体「鍛える生徒」を育む教育活動を行っています。VUCAの時代を迎え(変動性、不確実性、複雑性、曖昧性)、この先の社会環境の急速な変化、予測困難な時代に進んでいく中で、子供たちが未来に対応していくための術を身に付け、自己決定、自己存在感や他者理解を深めながら、社会の変化に主体的に関わり、一人一人が持続可能な社会の創り手として、ウェルビーイングの向上を図り幸福な人生を送ることができる大人を育てていきたいという思いであります。そのためには、日々進歩する新しい時代にふさわしい学校のあり方や、学校が抱える役割や課題を不易流行に鑑みて、今一度振り返りながら、捉え直していかなくてはならないと感じています。役割や課題では、その一つに、学校の働き方改革の推進が求められています。学校の業務として担ってきた活動の精査・精選を図り、長時間勤務等による教員の疲弊をなくし、ワークライフバランスを整えること。健康で精力的に子供たちと向き合い、その時間を確保していくことが子供たちの成長には欠かせないと考えます。また、授業や教育活動の質を高めることでは、充実した授業準備の時間、活動の推進では時間を生み出し熟考できる教員間及び関係機関等との連携体制が構築できるように工夫・改善を図りたいと思います。ご家庭や地域等の皆様におかれまして、今後ともご理解とご協力を、またその支えが大きな励みとなりますのでよろしくお願い申し上げます。
生徒主体の楽しい行事があるとより、中学生時代が良い記憶となると思います。	
子どもと学校について話した際、「もし学校で何か困ったことがあった場合、相談できる先生がいる」と言っており、そのような先生がいてくださる環境に、感謝しております。ご多忙中、色々とお対応くださってありがとうございます。今後とも宜しくお願いいたします。	
ご多忙中、色々とお対応くださってありがとうございます。今後とも宜しくお願いいたします。	
子供達を多くの先生方で温かく、より良い方向に進み、成長できるように指導していただき、有難うございます。	